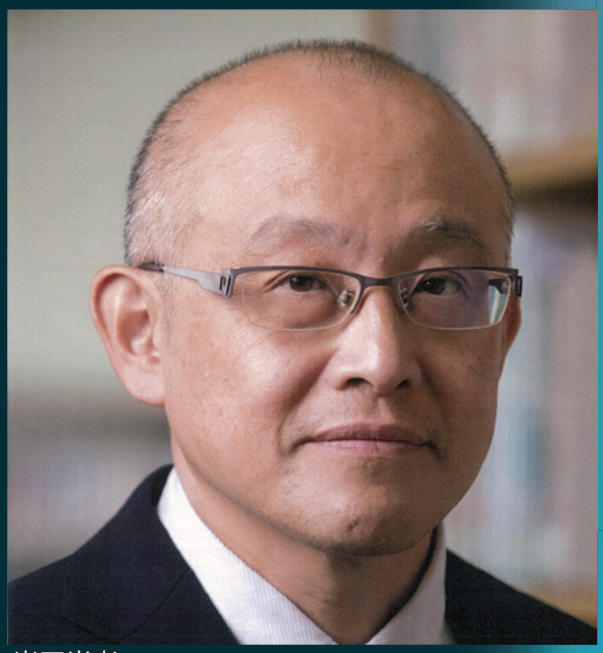
御影雅幸

馬場正

先駆ける



岩田尚孝

櫻井健志

躍動する農学

2017年11月11日(土) 14:30〜16:30 (開場 14:00)

パシフィコ横浜 会議センター 503
神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

※東急東横線・副都心線 みなとみらい駅より徒歩５分 ／ JR 京浜東北線・横浜市営地下鉄 桜木町駅より徒歩12分

講演

■御影 雅幸
東京農業大学農学部教授
漢方生薬の国産化に向けて

■馬場 正
東京農業大学農学部教授
農作物を「育てる」から「育てて届ける」へ

■岩田 尚孝
東京農業大学農学部教授
動物生殖学の研究がヒトの生殖医療に役立つ

■櫻井 健志
東京大学先端科学技術研究センター
特任講師
カイコガの超高感度フェロモン検出系を利用した匂いセンサ昆虫の開発

問い合わせ先

東京農業大学厚木キャンパス 学部長事務室
☎ 046-270-6607
✉ asympo@nodai.ac.jp

参加登録

https://e-karte.site/nodai/Agri_symposium2017 （参加費無料、先着200名）

主催：東京農業大学

躍動する農学

～農のこころで社会をデザインする～

開催趣旨

農学という学問領域は、単に食料の安定供給を支えるというものではなく、いまや豊かで持続可能な社会の実現に不可欠なものとなってきています。
本シンポジウムは、4名の研究者が自ら取組んでいる研究の進展をわかりやすく解説し、農学の広がり・深まり・今日性・緊急性を共有するものです。ぜひご参加ください。

Program

14:00　開場

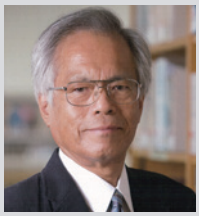
14:30　開催挨拶　東京農業大学 学長 高野克己

14:40～ セッション1～4

16:00～ ポスターセッション（16:30 終了）

Session.1

御影雅幸（みかげ・まさゆき）



博士(薬学)。東京農業大学農学部生物資源開発学科薬用資源学研究室教授。富山大学 大学院薬学研究科・修士課程終了。富山医科薬科大学（薬学博士)。専門は、医療系薬学。研究テーマは、マオウ属植物の栽培研究、漢方生薬の国産化研究。葛根湯などの漢方生薬に不可欠な原料生薬であるマオウの国内での安定供給をめざして栽培技術開発に邁進している。

漢方生薬の国産化に向けて

現在、国民医療の一端を担う漢方薬の原料生薬は 90%が海外からの輸入品です。安定供給と品質確保のために国内生産が求められています。本学では栽培方法とともに医薬品としての基準を満たすための研究を行っています。

Session.2

馬場正（ばば・ただし）

博士(農学)。東京農業大学農学部農学科ポストハーベスト学研究室教授。東京大学農学系研究科農業生物学専攻博士課程修了。専門は、園芸科学、収穫後生理学。研究テーマは、イチゴ、ブルーベリー、ラズベリーなどの『超』長期貯蔵技術やカット野菜、カットフルーツの鮮度保持技術などの開発。国産ラズベリーを使ったクリスマスケーキをお茶の間に届けるべく奮闘している。

農作物を「育てる」から「育てて届ける」へ

農作物を育てるのはもちろん、収穫して消費者に届けるまでが農業。イイものを、新鮮なまま届ける収穫後技術(ポストハーベスト・テクノロジー)を研究・開発しています。最近では農産物輸出にも取り組んでおり、貢献しうる分野は広がっています。

Session.3

岩田尚孝（いわた・ひさたか）

博士(農学)。東京農業大学農学部動物科学科動物生殖学研究室教授。京都大学大学院農学研究科 博士前期課程を修了し、神戸市役所に奉職。現、神戸みのりの公社で受精卵移植による神戸牛の生産に従事し、京都大学農学博士を取得。専門は、動物生産科学、獣医学、動物生命科学。研究テーマは、加齢を含む生理状態が卵子や胚の質に与える影響とその対処方法。動物の繁殖に関する研究を通じて、ヒトの生殖医療や畜産業に貢献するため研究を進めている。

動物生殖学の研究がヒトの生殖医療に役立つ

動物生殖分野では、家畜を対象とした胚移植・顕微授精・クローン等の生殖技術の研究が盛んです。一方これらの技術はヒトの生殖医療にも転用可能です。胚培養や性状の診断など現在の研究を紹介し、研究を介した人材教育の一端も紹介します。

Session.4

櫻井健志（さくらい・たけし）

博士(農学)。東京大学先端科学技術研究センター特任講師。京都大学大学院農学研究科博士課程修了。専門は昆虫生理学、分子遺伝学。研究テーマは、昆虫の匂い検出機構の解明と匂いセンサへの応用。昆虫（カイコガ）のもつ超高感度なフェロモン検出機構を遺伝子レベルで改変することで、所望の匂いを高感度かつ高選択的に探知できる匂いセンサ昆虫の開発を進めている。

カイコガの超高感度フェロモン検出系を利用した匂いセンサ昆虫の開発

カイコガの超高感度なフェロモン検出系を遺伝的に改変することで、特定の匂い物質の発生源を探知する「センサ昆虫」の開発を進めています。本技術により、高感度・高選択的・リアルタイムな匂い検出が可能となり、様々な分野への貢献が期待されます。

参加登録：URL　https://e-karte.site/nodai/Agri_symposium2017

日時	2017年11月11日(土) 14:30～16:30 (開場 14:00)
場所	パシフィコ横浜　会議センター 503 神奈川県横浜市西区みなとみらい１丁目１－１ (http://www.pacifico.co.jp/)
アクセス	東急東横線・副都心線 みなとみらい駅より徒歩５分 JR 京浜東北線・横浜市営地下鉄 桜木町駅より徒歩12分
会場お問い合わせ先	パシフィコ横浜　総合案内　☎045-221-2155

主催：東京農業大学